

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月8日

上場会社名 東和薬品株式会社

上場取引所 東

コード番号 4553 URL <http://www.towayakuhin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 逸郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画本部長 (氏名) 西川 義明

四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日

TEL 06-6900-9101

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	29,298	9.9	5,980	31.6	5,527	25.3	3,350	31.9
21年3月期第3四半期	26,670	—	4,544	—	4,410	—	2,541	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	195.17	—
21年3月期第3四半期	148.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	55,204	40,657	73.6	2,368.34
21年3月期	48,238	38,045	78.9	2,216.14

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 40,657百万円 21年3月期 38,045百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	22.50	—	22.50	45.00
22年3月期	—	22.50	—		
22年3月期 (予想)				22.50	45.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,300	9.3	7,600	18.6	7,100	6.2	4,260	12.8	248.15

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他(2)をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 17,172,000株 21年3月期 17,172,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 4,837株 21年3月期 4,556株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 17,167,306株 21年3月期第3四半期 17,167,548株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている連結業績予想に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）の国内経済は、国内民間需要の自律的回復力はなお弱いものの、内外における各種対策の効果などから持ち直しております。しかしながら、完全失業率が依然高い水準に止まっていることに加え、7～9月期の国内総生産（GDP）速報値で、国内の物価動向を示す国内需要デフレーターが△2.8%と、51年ぶりの低水準になるなど、デフレの様相が顕在化してきております。企業収益や雇用・賃金の悪化を通じて、景気が再び落ち込む「二番底」も懸念されています。

医療用医薬品業界では、今年度は薬価改定もなく、制度面での大きな環境変化はありませんでした。一方、平成22年4月の診療報酬改定議論の中で、新薬創出・適応外薬解消等促進加算の導入や、薬局の調剤基本料における後発医薬品調剤体制加算の見直しによる後発医薬品のさらなる使用促進などが決まりました。新薬の適正な評価と後発医薬品の使用促進を同時に進めるという政府の方針が具体化され、医薬品業界も、新薬を継続的に開発できる企業と、高品質のジェネリック医薬品を安定的に供給できる企業しか勝ち残れない時代になろうとしています。

このような中、当社グループは、ジェネリック医薬品の需要拡大が見込まれる保険薬局、病院市場で取り引き軒数の拡大を目指した営業活動を展開しました。また、引き続き適正価格販売を維持し、血管拡張剤アムロジピンOD錠5mg「トーワ」をはじめとする主力品目の販売拡大に努めました。さらに、11月には、サルポグレラート塩酸塩錠100mg「トーワ」など、18成分30品目を新発売いたしました。

この結果、当第3四半期（9か月）の当社グループの売上高は、29,298百万円（前年同期比9.9%増）となり、営業利益は5,980百万円（同31.6%増）となりました。一方、平成21年3月末から6円13銭の円高になったことに伴い、408百万円のスワップ評価損を計上したことなどにより、経常利益は5,527百万円（同25.3%増）となり、第3四半期純利益は、3,350百万円（同31.9%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は、55,204百万円となり、前連結会計年度末比6,966百万円の増加となりました。その主な要因は、現金及び預金の増加であります。

負債につきましては、14,547百万円となり、前連結会計年度末比4,354百万円の増加となりました。その主な要因は、長期借入金の増加であります。

純資産につきましては、40,657百万円となり、前連結会計年度末比2,612百万円の増加となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加であります。

その結果、自己資本比率は73.6%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第3四半期末における現金及び現金同等物の残高は、2,694百万円となり、前連結会計年度末と比較して730百万円の減少となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は3,939百万円の増加となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益5,459百万円等であり、主な減少要因は法人税等の支払額2,874百万円、売上債権の増加額1,135百万円等であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は7,904百万円の減少となりました。主な要因は、定期預金の預入による支出6,000百万円、有形固定資産の取得による支出2,037百万円等によるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は3,223百万円の増加となりました。主な要因は、長期借入金の借入による収入4,000百万円によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期の連結業績はほぼ計画どおり推移しており、平成21年11月9日の決算短信で発表しました通期の連結業績予想を修正しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
簡便な会計処理

1. 固定資産の減価償却費の算定方法として定率法を採用している固定資産については、当連結会計期間に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。
2. 法人税等の納付税額の算定に関して、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,694,837	2,912,744
受取手形及び売掛金	15,048,025	13,902,018
有価証券	—	512,641
商品及び製品	5,449,600	5,418,888
仕掛品	2,168,945	1,747,385
原材料及び貯蔵品	2,671,144	2,269,343
その他	1,305,242	1,687,815
貸倒引当金	△273,073	△40,446
流動資産合計	35,064,722	28,410,392
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,381,192	7,612,949
機械装置及び運搬具（純額）	2,028,968	2,271,700
土地	6,600,957	5,689,542
建設仮勘定	742,248	355,698
その他（純額）	411,662	469,812
有形固定資産合計	17,165,029	16,399,704
無形固定資産	258,115	229,655
投資その他の資産		
投資有価証券	1,945,010	2,296,120
その他	788,834	930,035
貸倒引当金	△16,790	△27,330
投資その他の資産合計	2,717,054	3,198,826
固定資産合計	20,140,199	19,828,186
資産合計	55,204,921	48,238,579

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,204,805	4,330,534
未払法人税等	952,427	1,698,566
引当金	43,650	58,200
その他	3,281,576	3,155,580
流動負債合計	9,482,459	9,242,881
固定負債		
長期借入金	4,000,000	—
引当金	265,359	152,045
その他	799,491	798,130
固定負債合計	5,064,850	950,175
負債合計	14,547,309	10,193,057
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,717,700	4,717,700
資本剰余金	7,870,735	7,870,735
利益剰余金	28,091,987	25,514,008
自己株式	△11,961	△9,646
株主資本合計	40,668,460	38,092,797
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△10,848	△47,275
評価・換算差額等合計	△10,848	△47,275
純資産合計	40,657,612	38,045,522
負債純資産合計	55,204,921	48,238,579

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	26,670,406	29,298,763
売上原価	13,790,999	14,172,302
売上総利益	12,879,406	15,126,460
販売費及び一般管理費	8,335,341	9,145,567
営業利益	4,544,064	5,980,893
営業外収益		
受取利息	34,255	12,099
受取配当金	2,494	2,854
有価証券売却益	165	—
有価証券償還益	7,267	—
技術指導料	49,285	48,097
その他	85,268	89,741
営業外収益合計	178,737	152,792
営業外費用		
支払利息	7,069	23,519
有価証券償還損	—	14,955
有価証券評価損	112,065	137,650
スワップ評価損	166,009	408,924
その他	26,919	21,412
営業外費用合計	312,064	606,463
経常利益	4,410,738	5,527,222
特別利益		
貸倒引当金戻入額	59,068	5,380
退職給付制度終了益	231,796	—
特別利益合計	290,864	5,380
特別損失		
固定資産処分損	7,232	3,781
たな卸資産評価損	10,135	—
投資有価証券評価損	365,966	68,900
工場閉鎖損失	91,194	—
特別損失合計	474,528	72,681
税金等調整前四半期純利益	4,227,074	5,459,920
法人税等	1,685,964	2,109,410
四半期純利益	2,541,110	3,350,509

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,227,074	5,459,920
減価償却費	1,379,024	1,283,155
工場閉鎖損失	25,366	—
のれん償却額	10,588	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△65,502	222,087
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△96,104	182,958
固定資産処分損益 (△は益)	7,232	3,781
たな卸資産評価損	10,135	—
受取利息及び受取配当金	△36,750	△14,953
支払利息	7,069	23,519
スワップ評価損益 (△は益)	166,009	408,924
有価証券評価損益 (△は益)	478,031	206,550
有価証券売却損益 (△は益)	△165	—
有価証券償還損益 (△は益)	△7,267	14,955
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,573,402	△1,135,482
たな卸資産の増減額 (△は増加)	63,129	△854,072
仕入債務の増減額 (△は減少)	△809,807	874,270
その他	△442,286	144,074
小計	3,342,375	6,819,691
利息及び配当金の受取額	62,695	23,953
利息の支払額	△7,069	△30,300
法人税等の支払額	△1,998,586	△2,874,290
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,399,414	3,939,053
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△6,000,000
有形固定資産の取得による支出	△2,189,658	△2,037,323
有形固定資産の売却による収入	100	—
投資有価証券の取得による支出	△50,000	—
投資有価証券の売却による収入	404,152	97,410
貸付金の回収による収入	18,000	30,000
その他	△59,565	5,379
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,876,971	△7,904,534
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	4,000,000
配当金の支払額	△769,123	△775,512
自己株式の取得による支出	△858	△1,202
財務活動によるキャッシュ・フロー	△769,982	3,223,285
現金及び現金同等物に係る換算差額	29,909	11,645
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,217,629	△730,548
現金及び現金同等物の期首残高	2,171,124	3,425,386
現金及び現金同等物の四半期末残高	953,494	2,694,837

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

全セグメントの売上高の合計及び営業利益の合計額に占める医薬品事業の割合がいずれも90%を超えるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

在外子会社、在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

海外売上高は連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。